

井上有一展

2020年 1月31日.金 — 2月8日.日

OPEN 11:00 — 18:00 定休日18日

● 昨年、井上有一の家 というよりは仕事場〈書を書く空間〉を訪ねた。娘の花さんが住んでいて案内してくれた。玄関に立つとストレートに奥のその部屋が見えた。井上有一が亡くなった1985年6月15日から34年7ヶ月が経っている。そして、その時のままの姿で残っていた。ポスターや本の表紙の書がかかっていたり、多くの紙が残っていた。我が友人がほりだした、有一が親父と住んだ家の地図のポスターもチラッと見えた。長きに渡って〈書を書く空間〉は保たれてきたのですね。15坪以上の良い空間であった。大きな音響のある空間であり、バツハがかかっていたという。家の者は中には入れなかったという。

私はビデオで奥様が紙を広げる様子を何十回も見ている。

すごいものが表われでてきたのですね。

想像してはデッサンし実際に向かって書いていったんです。

何年も何年も続けていく行為がとてつもないものを生み出すんですね。

今回は、あの「上」を掲げます。

「休」と「くびがもげた…」などもあります。

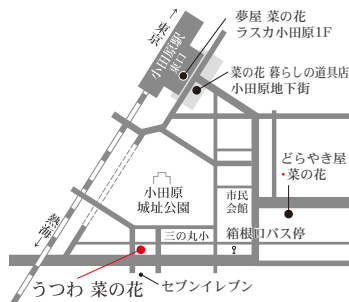
2020.1.14 ● 高橋台一

うっわ菜の花

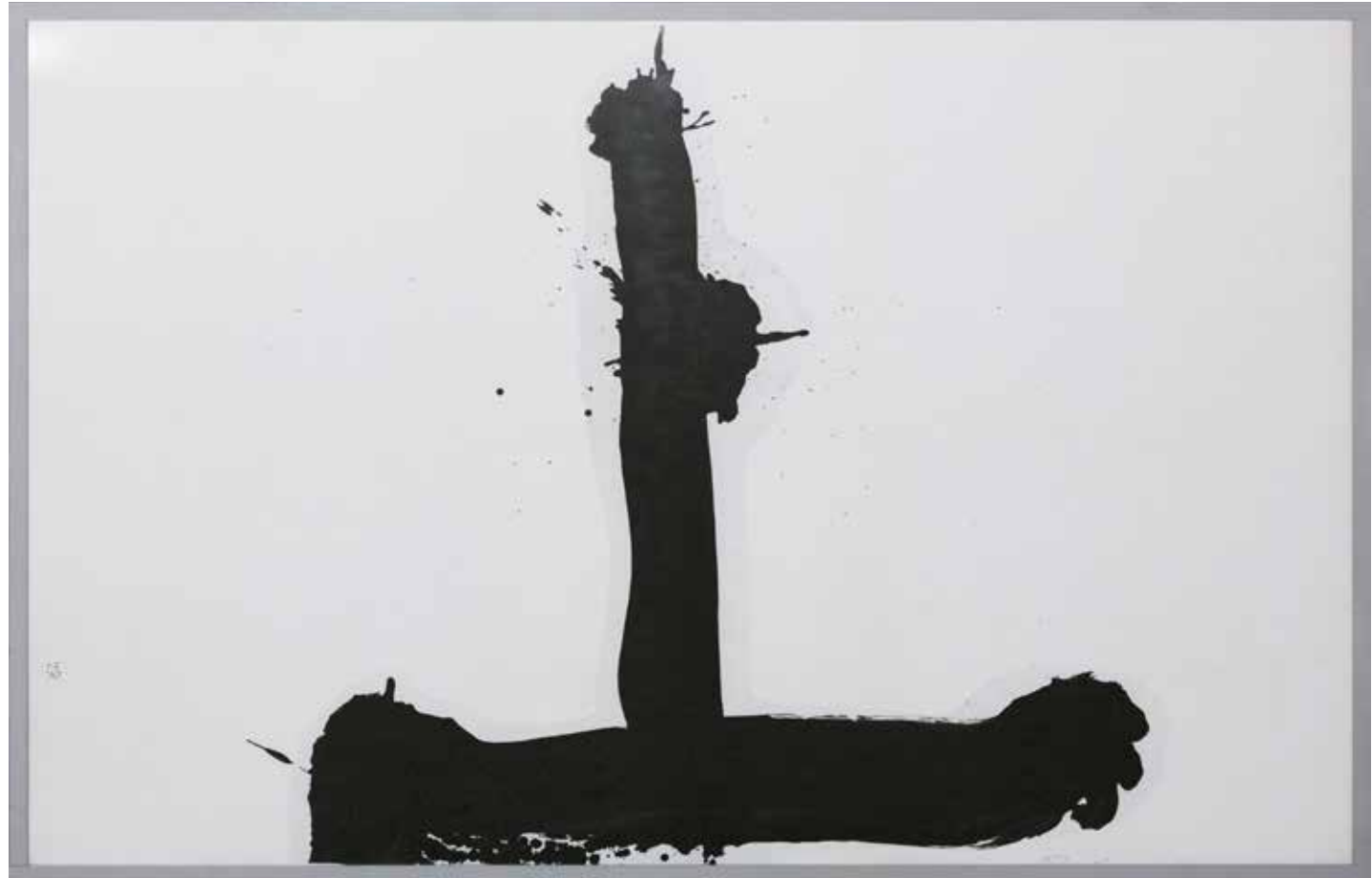
小田原市南町1-3-12

電話0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ
向かうバス利用
[箱根口]バス停下車徒歩2分
セブンイレブン向かい側



<次回企画展> 大賀義人の絵 2月15日.土—2月23日.日





● 井上有一略歴

- 1916 東京生まれ
- 1935 横川尋常小学校(東京)の教員となる
- 1941 上田桑鳩に師事
- 1952 墨人会結成、機関紙「墨人」発行
- 1954 「日本書道展」(ニューヨーク近代美術)
- 1955 「日本抽象美術展」(東京国立近代美術館)
- 「現代日本の書」(ヨーロッパ巡回)
- 1957 「第4回サンパウロ・ビエンナーレ」
- 1958 ブリュッセル万国博記念「近代美術の50年」展
- 1959 ハーバート・リード著「近代絵画史」に掲載
- 第2回「ドクメンタ」(カッセル/ドイツ)
- 1961 「第6回サンパウロ・ビエンナーレ」
- 「現代絵画・彫刻ピッツバーグ国際展」
- 1969 「現代世界美術展」(東京国立近代美術館)
- 1971 寒川町立旭小学校校長(神奈川)
- 1979 「JAPAN TODAY」展(シカゴ)
- 1985 逝去(69歳)
- 1989 「大きな井上有一」展(京都国立近代美術館)
- 2016 「生誕百年記念 井上有一」(金沢21世紀美術館)

